講義名	対)卒業研究（前期：月４　後期：集中）		
講義コード	72402	授業形態	演習
担当教員	山口　志郎		
開講期・曜日・時限	前期 月曜日 ４時限／後期集中 その他 その他		
備考			

ゼミ

学部ゼミ

学部

人間社会学部

学科

全学科対象（3年生から、4年生は観光学科と人間健康学科）

演習名

山口志郎ゼミナール（スポーツマーケティング）

概要説明

　2020年東京オリンピック・パラリンピック開催が決定し、1年後の開催に向けスポーツマーケティングは更なる注目が予想されます。本ゼミでは、スポーツ界で起こる様々な現象をマーケティングの観点から探究します。なぜFIFAワールドカップやオリンピックはあれだけテレビで放映されるのか？なぜ東京マラソンや大阪マラソン、神戸マラソンに多くのランナーが参加するのか？なぜナイキやアディダスのCMは魅力的なのか？など、こうした疑問をお持ちの方は是非とも一緒にゼミ活動を行いましょう。

2回生の後期（研究演習Ⅰ）の活動
スポーツ界で起こっている現象の背景を探るため、新聞記事を用いてホットラインを行う。みんなでディスカッションしながらスポーツマーケティングの問題意識を高めます。二回生のゼミ活動のまとめとして、学内の社会連携プロジェクトに参加し、企画力を身につけてもらいます。

3回生のゼミ活動
パワーポイントを使用しながら、書籍プレゼンや企業プレゼンを個人で行う。それらの活動と並行しながら、学外のイベント（神戸マラソンボランティ ア、赤穂シティマラソン調査）、教員が行う研究プロジェクトへの参加などを通し、プレゼン力並びにコミュニケーション力を身につけてもらいます。特に、3回生のメインの活動は、学外の社会連携プロジェクトへの参加である。スポーツ業界への就職を希望される学生は、インターンシップ先やボランティア先を斡旋いた します。

4回生のゼミ活動
就職活動を柱に置きながら、卒業研究に取り組んでもらいます。もし教員に同行して国内外の学会に参加したい、発表を行いたいという学生は大歓迎です。その他ゼミ生対抗スポーツ大会や新歓、忘年会、BBQ、追いコンなど様々な行事を予定しています。基本的には、学生主体でこれらのイベントを行うため、こうしたイベントを通して、社会人の基礎・マナー、及びマネジメント力を身につけてもらいたいです。

学位

博士（観光学）

教員よりの要望

ゼミは講義と違い、自主的に行う活動です。自分の興味あるテーマやトピックについてとことん追求してください。また、課外活動（神 戸マラソンボランティア、赤穂シティマラソン調査など）を通して、プレゼン力やコミュニケーション力を身につけてください。必ず就職活動に活きるはずです。みんなのやりたいことを全力でサポートするので、一緒に頑張りましょう。

教員英字氏名

Shiro Yamaguchi

研究室

5406

最終学歴

和歌山大学大学院　観光学研究科博士後期課程修了

主な研究活動・社会活動・研究業績

現在の研究テーマ
・　スポーツ消費者行動に関する研究
・　スポンサーフィット概念の検討およびその効果に関する研究
・　スポーツイベント開催がもたらす社会・経済・環境的インパクト
・　アドベンチャースポーツイベントのリスクマネジメント
社会活動
・　和歌山大学国際観光学研究センター　客員特別研究員
・　順天堂大学スポーツ健康科学部　協力研究員
・　機関誌「イベント学研究」編集委員会　編集委員
・　兵庫体育・スポーツ学会 ひょうご地域スポーツ振興プロジェクト　プロジェクトメンバー
・　神戸スポーツ産業懇話会　世話人
主な研究業績
・　Yamaguchi, S., Akiyoshi, R., Yamaguchi, Y., & Nogawa, H. (2015). Assessing the effects of service quality, past experience, and destination image on behavioral intentions in the spring training camp of a Japanese professional baseball team. Journal of Convention & Event Tourism, 16(3), 228-252.
・　山口志郎 (2015) スポーツイベントにおけるスポンサーフィット: 先行研究の検討. スポーツマネジメント研究, 7(1), 3-22

主な卒業論文のタイトル

温浴施設におけるヘルスツーリズム推進の可能性：知覚価値、満足度、再訪意図の関連性に着目して
アスレジャー市場におけるライフスタイルに関する研究：10・20代の大学生に着目して
企業交流運動会におけるイベント効果と満足度に関する研究：参加者における性別・年代比較
子どもの居場所としての子ども食堂の役割：スポーツを通じた社会的包摂アプローチ
体育会水泳部に所属している選手の健康意識と幸福感に関する研究
スポーツバーの現状と参与観察・写真分析に関する研究
大学生のスポーツにおけるモチベーションと学業との関係性
ハンドボール競技における参加動機と継続要因に関する研究
女子プロ野球観戦における観戦動機・阻害要因に関する研究: 観戦者における性別比較
市民マラソンの参加動機に関する研究: 参加者の個人的属性の違いに着目して

趣味・特技

趣味：スポーツ、温泉めぐり、海外旅行が好きです。
特技：大学まで体育会硬式テニス部に所属していました。またアメリカ留学中は、大学のクラブチームにも所属していました。テニスが好きな学生は大歓迎です。

所属

人間社会学部　人間健康学科

所属学会

European Association for Sport Management (EASM)、日本体育学会 、日本スポーツマネジメント学会、日本生涯スポーツ学会 、イベント学会 、兵庫体育・スポーツ科学学会

専門分野

スポーツマネジメント、スポーツマーケティング、イベントマネジメント

選考方法

ゼミ希望者の履歴書、成績、面接を総合的に判断しながら選考します。必ず個別ガイダンスにお越しください。

担当科目

スポーツマーケティング、スポーツマネジメント論、健康サービス企画運営論、健康サービス企画運営実習、専門基礎演習、研究演習Ⅱ、卒業研究、野外教育活動演習（キャンプ実習）

備考

評価方法

出席、課題（レポート、プレゼンテーションなど）、ゼミ活動に対する積極性や貢献度によって評価します。

実務経験の有無及び活用